

寺
ごよみ

十 月

一 日 板屋お講
七 日 お寺座ライブ
九 日 お道具磨き
一〇日 仏教入門講座
一四日 清掃奉仕
一六日 三日市お講
一七日 米とぎ
一八日 報恩講準備

報 恩 講

～親鸞聖人のご法事～

一九日 午後一時半
午後七時
二〇日 午前十時
午後一時半
ご講師…発願寺住職
川崎順正師

*ほんこさまの日程は七頁



寺 報

善 巧

発 行

〒 938-0862 富 山 県
黒部市宇奈月町蒲山497
白雪山 善 巧 寺
TEL (0765) 65-0055
FAX (0765) 65-0975
メール info@zengyou.net
URL http://www.zengyou.net

十月十九、二十日
報 恩 講

十一月四、五日
空 華 忌

在家報恩講、通称「ほんこさま」が九月後半からスタートしました。

報恩講とは親鸞聖人のご法事です。それを本山やお寺だけではなく、ご門徒一軒一軒の家でも勤めましょうというのが、在家報恩講で、お寺としても、年に一度ほぼすべてのご門徒さんにお会い出来るとても貴重なご法事です。

数年前までは、車のない時代に合わせた日程だったため、地区によつては、一日あたり五軒ほどで終わる地区もあれば、二十数軒まわる地区もありました。二十軒以上になると、お茶をしている時間すらもつたないというペー
スになってきます。それを、どの地区もなるべく均等に時間をつくつていきたいという思いと、葬

ほんこさま

儀のような突発的な予定が入っても、日をずらさず時間調整のみでまわれるようにしたいという思いから、昨年から大幅に日程を組み直させてもらいました。おかげで、あまり焦ることなく一軒一軒お参りさせてもらえるようになりました。

こちらの不行き届きでまだほんこさまに入られていない方は是非お参りさせてください。特に、別居をされていて、元の家から離れてしまう方々にも、県内でしたら富山市へもまわつておりますので、まわりのご協力も含めてどうぞよろしくお願い致します。歴史のあるものと、新しいことのバランスこそがこれからの命題だと受け取っています。

雪山 俊隆

豊かな文化 受け継いでもらいたい

社会の急速な近代化、グローバル化が進む現代。日本人の生活や習慣、考え方に深くかかわってきた仏教もまた、あり方が問われている。1000万門信徒を抱える浄土真宗本願寺派（京都・西本願寺）の第24代大谷光真門主（62）は、法統を継承して今年で30年。この国や世界のあり方について、仏教的な視点から思いをめぐらせることは少なくない。そんな大谷門主に、宗門校である龍谷大学の学生2人がインタビュー。若者らしい質問、疑問に門主はなごやかに答えた。

第24代 大谷光真門主に聞く

——今年で法統継承30年を迎えられました。振り返ってのご感想は

大谷光真「30年はあっという間で、（継承は）ついこの間のような気がします。1年1年の行事に追われることが多く、創意工夫に注ぐ力がなかなか持てなかったという反省もありますね」

——その間、社会における仏教の立場はどう変化してきたと感じられますか

「やはり弱体化していますね。社会への影響力が弱くなっていると感じます。特に、農村や山間の寺院が減ってきている。大都市では新しい寺ができる動きもありますが、減る方が多いのがつらいところです。ただ世界的にみると、欧米などでは仏教への関心が高まり、評価も高い。30年前に比べれば、仏教を好意的に理解しよう、勉強しようという人が増えているのは明らかです。日本の場合と少し違うところで」

伝統に触れてほしい

——生まれたときから門主になるべきお立場にあり、反発や葛藤はありませんでしたか

「他の人と違う立場だということへの違和感はありませんが、反発とかそこから逃げようという気持ちはありませんでした。自然科学に関心が高かったので、白紙の立場だったら、そちらの方に進んだのではないのでしょうか」

——われわれ若者は仏教を含め宗教への関心が低くなっています

「率直に言えば、伝統的な宗教にもっと関心を持ってほしい。若い人が伝統的なものに触れる機会が少ないために知らないということは、宗教だけでなく風俗や習慣にも通じることです。せっかく伝えられてきた豊かな精神文化を、将来に向かって受け継いでほしいですね」

——目標を持ってない若者が増えていきます。宗教的観点から指摘できることは

「目標があるかどうかは、どちらでもいいのではないのでしょうか。昔の人がみな、目標を持って人生を切り開いたかという、そういう人の方がむしろ少ない。親子、孫と同じ仕事につき、与え

られた作業を黙々とこなしてきた人の方が多かった。今はむしろ世の中があおり立て、目標を持ってといわれ、若い方々が強い思いをしているのではないかと思います」

——その場その場で一生懸命、誠実に生きることですか

「それはそれで十分、人生の意味があるのではないかと思います。最初は不満でも、やがて仕事の意味に気づく。すると道は開けてくるのではないのでしょうか」

少し立ち止まって考える

——5月に開かれたOBサミット（注1）では、秋尊の言葉とされる「怨みに報いるに怨みを以てしたならば、ついに怨みの息むことがない」を紹介し、注目を集めました。積極的な発言への思いと、その言葉の意味を教えてください

「怨みというのはそう簡単になくなるものではありません。けれど、その気持ちが政治や行動に直結することは、改める必要があるのではないかと。腹が立ってすぐに行動するのではなく、少し立ち止まって考える。怨みに…の言葉は参考になる考え方だと思います。会議で偶然、ワイツゼッカー元ドイツ大統領（注2）とお会いしたんです。何百年も争っていたドイツとフランスがどうして仲良くなったのかと質問したら、単に2国だけでなく、欧州全体で新しいヨーロッパを作っていくという大きな目標に向かい、仲良くしていく努力をしたのだと。なるほどと思いました」

——多様な宗教を持つ人々の交流や相互理解は可能でしょうか

「半分可能で、半分可能性は低い、そんな思いですね。一神教だから、多神教だからという見方は一面的な見方で、一神教でも柔軟な考え方の人はたくさんいますし、多神教の多いアジアでも紛争がある。宗教性よりも、一人ひとりの考え方による部分が大いなのではないでしょうか。まずは柔軟に相手の話を、考えを尊重することから理解が始まるのではないかと思います」



インタビューを終えて笑顔の平賀さん（左）と加藤さん（浄土真宗本願寺派宗務所庶務室）

おたに・こうしん 1945（昭和20）年、京都市生まれ。東京大学文学部卒、龍谷大学大学院および東京大学大学院修士課程修了。77年浄土真宗本願寺派第24代門主・本願寺住職。財団法人・全日本仏教会会長を3期務める。著書に『朝（あした）には紅顔ありて』『世のなか安んじなれ』など。

<インタビュー>

龍谷大学新聞社社員
平賀 新 龍谷大学国際文化学部
国際開発論専攻3年
加藤 陽子 龍谷大学社会学部
コミュニケーション
学専攻3年

（注1） インターアクション・カウンスル（通称OBサミット）。故福田首相の提唱で1983年に設立され、世界各国の大統領や首相経験者らが集まる会議。25回の今年5月はウイーンで開催された。

（注2） リヒャルト・フォン・ワイツゼッカー元独大統領（87）。在任期間は1984～94年。戦争責任について語った講演などで有名。

浄土真宗を開かれた親鸞聖人は、1262(弘長2)年に90歳でご往生されました。2012(平成24)年1月16日は、宗祖親鸞聖人の750回忌(御正當)にあたります。

本願寺ではご修復を終えた御影堂において、大遠忌法要をお勤めいたします。ご生涯をかけて真実のみ教えを弘められた親鸞聖人のご遺徳を偲ぶとともに、50年に一度のご勝縁をとともどもにお迎えいたしましょう。

ご懇志のお願い

このたびの大遠忌法要を中心とする宗門長期振興計画は、全国のご寺院をはじめ門信徒の皆様にご協力をお願いするご懇志を主な財源として推進されるものです。

厳しい社会経済状況ではありますが、お念仏のみ教えが一層弘まるよう、皆様のご懇念をぜひお寄せいただきますようお願いいたします。具体的には一軒あたり二万円のご懇志をお願い致します。

(黒西組で一率この額に決まりました。その一部は各寺の七百五十回遠忌法要にあてられます)

永代祠堂会

七月十六〜十九日

七月十六日から十九日、例年通り永代祠堂会が勤まりました。今年のご講師は、二年前にお越しいただいた鹿児島島加藤信行師。「あなたが目当てだよ」と師に肩を抱かれたご婦人は感動の涙を流していました。また、教化部からは、近年恒例になった「お寺でクイズ」を行い、仏教婦人会役員の方に登場していただきました。このクイズは例えば、「おシヤカさまが

お悟りを開かれる前のお名前は何と言われるでしょうか」という質問に対して①「シッダールダです。これくらい知らんにやだめやっちゃ」②「あれえ違うがいぜ。アジャセ王子です」③「ラーフラです。さわり多きものという意味です」と、三つの答えを解答者が答え、参拝者は自分の思う答えの番号ふだを上げるといふ某番組のお寺バージョンです。作法や仏事の再確認にもなって、皆さん楽しく参加してくださいました。

仏教婦人会によるバザー、今年は四日間開かれ例年の倍の収益がありましたので、役員の総意で五万円を新潟県中越沖地震へ寄付されました。皆さん、ようこそようこそのご参拝でした。



クイズ司会の鬼原教化副部長



解答者の仏婦役員



クイズに答える参拝者の方々



加藤信行師を囲んで



大好評のバザー



会館ではパッチワーク展



三十周年にあたる今年
は、提灯と綿菓子機を新
調しました。協力を下
さった方々、心よりお礼
申し上げます。

こども盆踊り



雪ん子の夏

九月二十三日の彼岸会
法要特別公演として大阪
津村別院からお招きを受
けました。津村別院の前
に立つと『雪ん子劇団特
別公演』の大きな看板。
記念撮影をして上を眺め
ると七十二段の大階段の
遙か上に本堂がそびえ立っ
ています。全員その大き
さにびっくり。泊まった
ホテルもまた立派でした。
夕食なんてフランス料理
のフルコースなんです。
こんなにしてもらっていい
のでしょうか。

「皆さんの好意に報い
るには精一杯やるしかな
い」。雪ん子たち、精一
杯でした。みんなが力を
合わせて素晴らしい舞台
でした。見てくださった
方の次の感想が当日の様
子を物語ってくれます。

「素晴らしい、輝かし
いまぶしい子どもたちで
した。ありがとう！」



大阪津村別院本堂での公演



善巧寺境内での定期公演

琵琶湖演劇祭に参加



*ほんこさまの日程は七頁

寺
ごよみ
十二月

一日 下立愛本お講
九日 清掃奉仕
一六日 浦山お講
二九日 米とき
三〇日 もちつき
日校もちつき
三一日 除夜会

一六日 浦山新お講

空華忌

四日 午後七時
五日 午前十時
午後一時

ご講師 藤沢信照師

寺
ごよみ
十一月

一日 愛本新お講
三日 空華忌準備

夏も賑やか

八月二十八日、高岡の川上組の寺院女性会がご参拝。坊守と同じ立場の方々ですから善巧寺の活動に刺激を受けられて頑張らなくっちゃと意気込んでお帰りになりました。

九月三日には、はるばる大阪から大阪教区仏婦連盟四十名がおたずねくださいました。新潟への恵信尼さま顕彰の研修旅行で、善巧寺にもお寄りになったのです。明教院僧鑑師の遺墨見学、前坊守のお話、そして会館でくつろいで楽しい時間をお過ごしいただきました。

翌日の九月四日、今度は長野から真宗寺の壮年会がご参拝。実はこのお寺の前住職は、善巧寺が住職不在の時期に院代としてお越しいただいた方です。「信州のこえはん」と言えばおわかりの方もいらつしやるかもしれません。およそ十年前には

雪ん子劇団がこの真宗寺の日曜学校の子どもたちと長野で交流した経験があるのです。深いご縁を感じます。

十月には京都宗学院からご参拝の予定。空華派ゆかりの資料拝観にお越しになります。

明教院さまや雪ん子をたずねて、たくさんの方がこの善巧寺をおたずねくださいます。ようこそようこそ。



高岡川上組寺院女性の方々



大阪教区仏婦連盟の方々



長野県真宗寺壮年会の方々

ほんごさま年内の日程

十月

二一日 浦山新地区
二二日 浦山新地区
二七日 中陣地区
二八日 中陣地区
二九日 愛本・愛本新地区
三〇日 愛本・愛本新地区

寺
ごよみ

十二月

寺
ごよみ

二日 栗虫地区
三日 栗虫地区
四日 栗虫地区
五日 富山地区
九日 魚津地区
一〇日 経田柳沢窪野
田家地区
東狐地区
東狐地区
一五五 板屋地区
一七五 板屋地区
二五五 上野地区
二六五 上野地区
三〇日 飯野芦崎地区
三一日 中新地区

二一日 浦山新地区
二二日 浦山新地区
二七日 中陣地区
二八日 中陣地区
二九日 愛本・愛本新地区
三〇日 愛本・愛本新地区

十一月

一四日 下立愛本地区
一七五 下立愛本地区
一八日 内山地区
一九日 音沢地区
二〇日 音沢地区
二二日 音沢地区
二五五 音沢地区

寺
ごよみ

七日 石田地区
一二日 板沢地区
一三三 板沢地区
一四四 板沢地区
一五五 滑川・出地区
一九日 浦山新地区

二一日 浦山新地区
二二日 浦山新地区
二七日 中陣地区
二八日 中陣地区
二九日 愛本・愛本新地区
三〇日 愛本・愛本新地区

寺
ごよみ

報恩講

浄土真宗で最も大切な法要です。

十月十九日 午後一時半 お逮夜

午後七時 お初夜

二十日 午前十時 お日中

午後一時半 ご満座

発願寺住職 川崎順正 師

*十九日夜は絵解き説法です。

空華忌

明教院僧銘法師の法要です。

十一月四日 午後七時 お初夜

五日 午前十時 お日中

午後一時 ご満座

行信教校講師 藤沢信照 師

聞法の秋です。どうぞ
どうぞお参りください。

ほんこさま

昨年と日程が多少違う地区がありますので、お気をつけください。年に一度のほんこさま、大切にお勤め致しましょう。

報恩講準備

十月九日 八時半

お道具磨

十四日 八時半

清掃奉仕

十七日 八時半

米とぎ

十八日 八時半

お華束・掃除

空華忌準備

十一月三日 八時半

お華束

屋内清掃

越冬清掃奉仕

(雨天順延)

十二月九日 八時半

日曜学校 もちつき大会

十二月三十日 午前十時

除夜会

一月一日 午前〇時

お寺座ライブ

10月7日午後6時

昨年300人ほどの方々で賑わったお寺の音楽会。今回はナイキのCM音楽や映画『天然コケッコー』の音楽を担当しているレイ・ハラカミさんと、日産マーチのCMで歌う二階堂和美さんが初参加。インド音楽の弘雄介さんとお坊さんバンドのおまけびとも昨年に引き続きご登場。お寺ならではの読経



や一口法話も交えながらお送りします。申込みはお寺までご連絡ください。

合 掌

親鸞聖人七百五十回大遠忌法要まであと四年になりました。十年がかりの大屋根修復も進み、覆いのとれた屋根根が美しい輝きを見せています。ご本山では平成二十三年から二十四年にかけて大遠忌が行われます。善巧寺もそれに続いて平成二十四年に親鸞聖人七百五十回大遠忌をお勤めせねばなりません。内陣の天井の修復などの事業計画があり、御門徒のご懇志をお願いすることになります。五百年の歴史を守る善巧寺の護持発展にどうぞご協力をお願いします。命を軽んじるこの不穏な世の中なればこそ「世の中安穩なれ」と願う仏の教えの尊さを次代へ伝えていきましよう。

